

令和3年度 第6回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和3年8月4日（水） 13時00分から13時50分まで

開催場所：A203・204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、星野産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、原田市長公室長、田中危機管理室長、北原会計管理者（欠席）、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、南信州広域連合吉川事務局長、有賀消防長、佐々木財政課長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

告示日記者会見では、新型コロナウイルス簡易検査キットを活用した水際対策事業について、第1回目の社会実験の報告をした。報道記者や市民の皆さんからは好意的な声も聞かれており、国に対しての政策提言となったと思う。地方都市の我々が考えながら取り組むことは非常に大切である。政策提案から記者発表準備まで一連の動きに感謝申し上げる。

新型コロナウイルスの感染状況が非常に厳しく、県内でも感染が広がっている。7月24日以降は市内でも感染者があり、予断を許さない状況にある。ワクチン接種事業チームには本当に頑張ってもらっており、ここまで目標どおりに進んでいる。その一方で、職員の飲食店での会食マナーについて市民から意見が寄せられたことは、非常に残念である。このことは、それぞれの部局で取り上げ、職員と話をし、注意し合えるチームになっていただきたい。

<副市長>

市長からもお話しがあった市民からの職員に対する意見については、全庁を挙げてコロナ対策に取り組む中で、市民に大変申し訳なく思う。改めて職員一人ひとりが気を付けてほしい。

<教育長>

人形劇フェスタ、成人式をひかえている。新型コロナウイルスの感染状況のために、変更に対応せざるをえないときには、市役所全体で説明し、理解を得られるように、これからも協力をお願いしたい。

オリンピックでは、日本人選手の活躍が素晴らしく、スポーツの持つ力を感じさせられている。ひとつ残念なのは、選手への誹謗中傷である。有識者によればスケープゴードにされているというが、大変残念だと思う。これから感染症の流行が広がった時に誹謗中傷は絶対にあってはならない。そういった場面で、誹謗中傷は絶対してはいけなく注意できる市職員であってほしい。

2 協議事項

（1）飯田市国土強靱化地域計画の策定について（危機管理室）

◇趣 旨：飯田市国土強靱化地域計画案のパブリックコメントに提出された意見に対する回答について協議する。

◇論点・課題

- ・「計画案に具体性がない」との意見に対しては、来年度より令和10年度までを実施期間とし、毎年の予算編成の中で効果的に事業を実施していくこと、飯田市の各分野別計画と連携して進めることを回答する。
- ・「浸水想定地域の公表があっても住宅・事務所の資産への対策は皆無で、竜水工業地帯をどのように守るのか思慮が見えない」との意見に対しては、新たな排水設備等の設置検討を回答する。

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

（1）令和3年飯田市議会第3回定例会の議案について（総務部）

◇趣 旨：令和3年飯田市議会第3回定例会に提出する予定の議案について報告する。

◇論点・課題

- ・ 報告案件2件、人事案件3件、条例案件2件、一般案件2件、予算案件6件、決算認定13件、計28件について報告する。

(2) 令和2年度 決算の概要について（総務部）

◇趣 旨：令和3年飯田市議会第3回定例会に認定が付される令和2年度決算について、その概要を報告する。

◇論点・課題

- ・ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症と豪雨災害対応等に多額の経費を要したことから、過去最大の決算規模となった。
- ・ 歳入では、市税や普通交付税の減により、歳入一般財源が7億9,745万円の減と大きな影響を受けた。
- ・ 歳出は129億円の増となった。新型コロナウイルス感染症への対応、7月の豪雨災害への対応、稲葉クリーンセンターの元金償還が始まり南信州広域連合への負担金が増加したことなどによる。
- ・ 財政運営目標である「2020年度末における主要4基金残高を40億円以上確保」、「2020年度末における臨時財政対策債を除く地方債残高を550億円以下に抑制」はともに達成した。

(3) 令和3年度一般会計補正予算（第5号）案について（総務部）

◇趣 旨：令和3年飯田市議会第3回定例会に提出する飯田市一般会計補正予算（第5号）案について報告する。

(4) 令和2年度市税等の収納実績について（総務部）

◇趣 旨：令和2年度の市税、国民健康保険税の収納実績について、8月30日に予定されている飯田市議会全員協議会で報告する。

◇論点・課題

- ・ 令和2年度の市税の収入額は、前年度に一時的な要因で増加した法人市民税に対し法人税割額が減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症に係る徴収猶予の特例により、前年度より8億9,700万円余の減収となった。市税合計の収納率は98.4%で、昨年度から1%減少した。
- ・ 国民健康保険税では、被保険者数の減少や新型コロナウイルス感染症に係る減免等があり、収入額は6,400万円余減少、収納率は前年と同じ96.3%であった。

◇主な意見等

（副市長）徴収猶予額、繰越額、年度内に収納した額を明確に説明すること。また、比較の意味で19市の状況を把握しておくこと。

(5) 令和2年度第二期子育て応援プランの実施状況について（健康福祉部）

◇趣 旨：令和2年度子育て応援プランの実施状況について、飯田市社会福祉審議会児童福祉分科会による審議、評価を共有し、9月に予定されている社会文教委員会協議会で報告する。

◇論点・課題

- ・ 令和2年度第二期子育て応援プランの実施状況の評価について、成果指標である「子育てしやすいまちだと思える割合」、「子どもを産みやすい環境の街だと思える人の割合」は平成30年度の現状値を上回っている。一方、「合計特殊出生率」、「0歳から14歳までの人口」は、令和6年度の目標値を下回っている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行により、市民生活が大きく変容し、人とつながりにくくなっていることで子育てへの不安を感じている親もいる。感染拡大防止から、予定していた施策を全て実施できなかったが、コロナ禍でもできることに取り組んできた結果であると考えている。
- ・ 今後は、子育て応援アプリの導入をはじめ、子育て情報の発信を強化し、誰もが安心して子育てができる環境づくりを一層推進する。

(6) 飯田市議会全員協議会（8/30）における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：8月30日に開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件2件を報告する。

(6) 第3回定例会各委員会協議会報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：9月6日（月）から9月13日（月）に開催が予定されている、飯田市議会第3回定例会の各委員会協議会の報告事項を報告する。

4 閉会